



まちの話題を写真でお届け！ まちフォト



▲完成したスワッグ

9月9日・深谷公民館 ドライフラワースワッグ作りに挑戦！

ドイツ語で壁飾りを意味する『スワッグ』。14人の参加者は講師の説明を受け、思い思いにスワッグ作りを楽しみました。



(写真左から) 深谷赤十字病院 伊藤博院長、小島市長



◀販売したポロシャツ
(写真左) とTシャツ (写真右)

▶病院に入る前に、ふっかちゃんも検温しました。

9月9日・深谷赤十字病院 新型コロナウイルス感染症に対応する 医療従事者に寄付金をお届け

新型コロナウイルス感染症に対応している深谷赤十字病院の医療従事者へ、市民の感謝と『ねぎらい』の気持ちを伝えるため、寄付金618,600円を届けました。なお、この寄付金は今年作製・販売した『ふっかちゃん&渋沢栄一ポロシャツ・2020』の売上金の一部です。



9月21日・深谷市立図書館 企画展『思い出の風景～街角スケッチから～』

過去『広報ふかや』に掲載された『街角スケッチ』の原画と作者である佐藤進氏の絵画が展示され、来場者は昔の風景画を懐かしみながら見学しました。



9月11日・市役所本庁舎 新庁舎落成記念として 国旗掲揚塔が寄贈されました

市内5ロータリークラブ（深谷・岡部・深谷東・川本・深谷ノース）から新庁舎の落成記念として、国旗掲揚塔が寄贈されました。国旗掲揚塔は西側メインエントランス前の市民広場に設置され、土台がレンガ張り、新庁舎と調和するデザインとなっています。

撮影快調！ 大河ドラマ『青天を衝け』



(写真左から) 渋沢喜作役 高良健吾さん、主人公・渋沢栄一役 吉沢亮さん、尾高十代役 橋本愛さん ©NHK

郷土の偉人渋沢栄一が主人公となる大河ドラマ『青天を衝け』の撮影が嵐山町の鎌形八幡神社で行われ、報道向けにその様子が公開されました。渋沢栄一を演じる吉沢さんは「現場の雰囲気もすごく良く、空気感もつかめてきたような手応えがあるので、いい方向に進んでるなという気がしています。雨で撮影が中断してしまったシーンもありましたが、とても楽しくやっています。」と笑顔を見せていました。

来年放送予定の物語では、渋沢栄一が幕末から明治へ、時代の渦に翻弄され挫折を繰り返しながらも高い志を持って未来を切り開いていく姿を描きます。

市民がエキストラで参加！

当日は、血洗島の諏訪神社に奉納されている獅子舞の風景を撮影したため、渋沢栄一翁の地元・血洗島の『血洗島獅子舞保存会』や自治会のかたがエキストラで参加しました。

血洗島の獅子舞は秋に行われる『諏訪神社秋季大祭』で披露され、晩年の栄一翁も毎年、お祭りの日には村に帰り、村人の演じる獅子舞を楽しんだといわれています。

放送は少し先になりますが、どのような場面になるのか楽しみにお待ちください。



▲撮影の様子。一つの場面を撮影するためには、登場人物だけでなく、多くのエキストラやさまざまなスタッフなど多くのかたが携わっています。



▲栄一（写真左）と喜作（写真右）が獅子舞を舞う様子。獅子頭だけでなく灯笼や花笠など実際のお祭りで使われているものが撮影で使用されました。